

総務文教委員会記録

令和4年9月1日（木）
12時09分～12時50分
第1委員会室

【委員】永見委員長、三浦副委員長
肥後委員、大谷委員、芦谷委員、佐々木委員、西田委員

【執行部】

（総務部） 坂田総務部長、佐々木総務課長、猪狩総務課総務管理係長
（地域政策部） 邊地域政策部長、岸本政策企画課長
（教育委員会） 森脇教育部長、草刈教育総務課長
（消防本部） 琴野消防長、田中総務課長

【事務局】 松井書記

【議題】

1 所管事務調査事項について

- (1) 市職員の特別休暇取得状況について
- (2) 市職員の新型コロナウイルス感染症感染による業務への影響について
- (3) コロナ禍の部活動中止の対応について
- (4) ふるさと郷育の現状について
- (5) 救急搬送の現状について

2 9月9日（金）の委員会審査日程等について

3 その他

4 【取組課題】多様性社会の推進について（委員間で協議）

令和4年9月定例会議 総務文教委員会審査について

日時：令和4年9月9日（金）10:00～ 場所：全員協議会室

1 陳情審査

- (1) 陳情第53号 （仮称）長沢サブセンター建設に係る陳情について
 - (2) 陳情第54号 浜田市庁舎管理規則第7条第14号に規定する別に定めるものを定める要綱の第2条(1)(2)について、適用除外が必要な理由等の説明を求める陳情について
 - (3) 陳情第55号 浜田市の重要な計画にわかりやすいKGIの設定の検討を求める陳情について
 - (4) 陳情第56号 浜田市の郷土資料館の資料についてデジタル化の具体的な検討を求める陳情について
 - (5) 陳情第62号 元職員の処分隠ぺいの可能性について、「白」明言の検討を求める陳情について
- 2 議案第53号 浜田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
 - 3 議案第55号 浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例について
 - 4 議案第56号 浜田市幼児教育センター条例の制定について
 - 5 同意第2号 浜田市教育委員会委員の任命について
 - 6 同意第3号 人権擁護委員候補者の推薦について
 - 7 執行部報告事項
 - 8 所管事務調査
 - 9 その他

【議事の経過】

[12 時 09 分 開議]

永見委員長

ただいまから総務文教委員会を開会する。出席委員は7名で、定足数に達している。レジュメに沿って進める。

1. 所管事務調査事項について

永見委員長

9月9日に開催する当委員会における所管事務調査について、委員の要望を伺いたい。執行部に資料提出や説明を求めたい事項があれば申し出ていただきたい。

肥後委員

過去4年間の6、7、8月における特別休暇及び残業の取得について提出してほしい。

総務部長

6、7、8月というのは何か事情があるのか。特別休暇には例えば夏季休暇があるが、これは7、8、9月である。

肥後委員

では、6、7、8、9月でやってもらうか、もしくは半年か。

総務部長

6月がポイントだということか。では、令和に入ってから6月から9月までの4か月間の特別休暇の取得状況、それはトータルの数字でよいか。

肥後委員

可能であれば所属別でお願いしたい。

総務部長

了解した。細かいところは人事課から相談させてほしい。

大谷委員

先ほどの全員協議会で部活動の対応について質問があったが、県からの依頼の後、中学校に文書を発出するまでの、誰がどのように対応したかの時系列の状況と、中学校側に発出した文書を参考に提示してほしい。

教育部長

コロナ禍の部活動休止について、県から依頼文をもらった後に協議した経過と、対応状況、中学校への文書発出までの経過でよろしいか。

大谷委員

はい。それを見ることで、どのような対応をしたかわかるので、参考にしたい。

西田委員

ふるさと郷育について、最近あまり聞かれなくなったので、最近の状況、例えば予算や校長先生の裁量、地域の住民とのかかわりなどの現状について、近年の推移はどういう感じなのか、活発に行われているのか。

地域政策部長

ふるさと郷育は、まちづくりセンターで取り組んでいる部分と学校で取り組んでいる部分があるので、それらを合わせたような資料ということで、学校と地域のかかわりや現状をまとめる。近年の推移ということだが何年くらいか。

西田委員

例えば、5年前と今では、子どもたちが社会教育、まちづくりセンターに、学校だけではなく地域とのかかわりがどのように変化したか。よりかかわりが強くなってふるさと郷育が進んでいるのか、それとも子どもの数に伴って予算も削減されたりして少し衰退気味なのか、感覚的に知りたい。

地域政策部長

内容を確認した上で、どういう示し方がよいかも含めて整理したい。

佐々木委員

コロナ感染も第6波で高止まりになっていて、市の職員の感染数も増えていて、かなり多い人数が報告されている。6波になってからの職員の感染の人数を概略で、また、市民サービスや業務に影響はないと書いてあるが、内部的にはやりくりが大変なのではないかと思うので、発生した問題点があれば今後の対応すべき課題として参考にすべきだと思うので、

概要を表に出せる範囲でお願いします。

総務部長 防災防犯メールに浜田市の感染者数を載せているので、その人数がいつどのくらいというくらいならよいが、理由や場所などは難しい。

佐々木委員 問題があってはいけないので全体でよい。業務への影響というか、どのような対応をしたとかいう話があれば聞かせてもらいたい。

総務部長 ご承知のように、最初の頃は閉庁したりして用心していたが、クラスターとして発生はしていないと思うので、それぞれの事情で発症していると思うが、休んだことによって仕事がというのは、やりくりしているとしか言いようがないので、そのような話になるがよいか。

佐々木委員 それでよい。

三浦副委員長 進捗があればだが、部活動の社会体育への移行という国の方針が示されて、国も概算要求で担当部署が予算要求したという報道等は流れているが、連絡が来て以降、執行部の見解としては国の動向を見ながら対応するとのことだったが、その後、国の動きに伴って変化があれば状況を知らせてほしい。まだないということであれば控える。

教育部長 明確に通知があったかを確認するが、もしあればということでもよろしいか。報告するほどのことはないと思うが、確認させてほしい。

三浦副委員長 そんなに進捗や動きがなければ、わざわざ何か出してつくってもらうことを求めているわけではない。

教育部長 まとめて、というほどのことはない。

三浦副委員長 では、結構である。

大谷委員 救急搬送について、要請があって現地に到着するまでの平均時間と最大時間、病院に運ぶまでの平均時間と最大時間、及び搬送時における支障事案があれば挙げてほしい。

消防長 現場到着の平均時間、最大時間とは119番からということか。それと、病院到着までの平均時間、最大時間は現場を出発してからか。

大谷委員 はい。それから、交通事情によって搬送に支障を来すような事例があったとか、あるいはサイレンを鳴らしているが道をあけてもらうなどの協力がなくて困ったとか、そういう事案があれば出してほしい。

消防長 交通事情によって到着が遅れたり、サイレンを鳴らしてもよけないという事例はあることで、それで特に影響があったということはないと思うが、調べてみる。

大谷委員 いずれにしても、現状を認識する中で、対応の必要があるかないかを判断するのに必要な資料として出してもらいたい。全国的には問題になっているケースもあって、浜田ではそういった事例は少ないとは思いますが、話題になっているので、浜田における現状を認識したい。

消防長 承知した。期間はどのくらいか。

大谷委員 何年というのは頭はないが、データが取れるのであればできるだけ長い期間があった方が推移が見られる。5年か、10年までとは言わないが、推移がわかるような期間と思っている。

消防長 では、5年を目安にする。

永見委員長 ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

今、委員から5項目の要望があった。過去4年間の職員の特別休暇の取

得状況、コロナ禍の部活動の対応、ふるさと郷育の現状、職員に何人のコロナ感染があり、業務への影響がどの程度あったのか、救急搬送時の支障等について、この5項目でよろしいか。

(「はい」という声あり)

では、そのようにさせていただく。執行部に準備をお願いする。

2. 9月9日(金)の委員会審査日程等について

永見委員長

総務文教委員会は9月9日10時から全員協議会室で行う。予定している議題はレジユメの囲みの部分を見てほしい。

(以下、資料をもとに説明)

参考人招致の必要があるかどうかをお諮りする。

(「なし」という声あり)

では、参考人招致を行わないこととする。この5件の陳情はいずれも市の現状や対応等を確認しないと判断がつかないものが多いように思う。委員及び執行部に伺うが、当日審査の参考のため、それぞれの陳情内容にある件について、現状での市の対応等を確認したいがよろしいか。

(「はい」という声あり)

では、9月9日当日、よろしく願います。

(以下、資料をもとに説明)

この議題2について、委員及び執行部から質問はないか。

松井書記

今回、執行部からの報告事項に長沢サブセンターがあるが、この説明は陳情のところでされるか。それとも別々にされるか。

地域政策部長

関連のある内容なので、一緒に説明をしたほうがよいと判断されればそうする。

永見委員長

では、陳情に併せて説明していただくということでよろしいか。

(「はい」という声あり)

では、そのように願います。ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

3. その他

永見委員長

執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

では、執行部はここで退席されて構わない。

《 執行部退席 》

4. 【取組課題】多様性社会の推進について(委員間で協議)

永見委員長

8月4日の委員会の折に、9月定例会議が始まるまでにオンライン研修や視察という話もしていたが、盆の休暇やコロナ感染の拡大で視察等を受けてもらえず、現在に至っている。9月9日の委員会で浜田市人権尊重まちづくり条例の制定について説明される予定なので、総務文教委員会としても、年末までには皆と協議しながら提言なり意見を付すなりという

形を取りたいと思うが、今後、9月定例会議が終わり12月いっぱいまでは3か月しかないので、早急な対応が必要ではないかと思っている。副委員長に状況を説明いただく。

三浦副委員長

取組課題についての経緯を遡ると、まず情報をそれぞれでインプットする時間が必要ということで、そこから視察を計画したが、8月はほかの市も議会前だったり、諸事情でオンラインも含めて受け入れが難しいとのことだった。致し方ない部分もあるが、視察できないから前に進まないというわけにいかないのだから、どうすれば皆と意見交換ができるかを考え、書記とも相談しながら全国の人権や多様性に関する条例を調べ、その中で特徴的なものを幾つか皆に情報提供する形でご覧いただき、どういったスタイルの条例が現状の浜田にとってよいのかについて意見交換する時間を取りたいと思っている。人権同和教育啓発センターのスケジュールでは、9月に検討委員会が立ち上がり、12月までに3回会議が行われ、パブリックコメントを挟んでもう1回検討委員会を開いて3月定例会議に上程したいということなので、遅くともパブリックコメントが行われるであろう12月までには、我々の中でも検討委員会や所管課に対して意見なり申し入れなりのアクションを起こす必要があると考え、定例会議に意見交換を行って、10月、11月で視察ないし、我々の意見を集約していきたい。非常にタイトだが、せっかく条例がつけられるタイミングなので、第1弾として皆と協議を進めていきたい。9月9日の委員会で条例を幾つか提示するので読み込んでいただき、当日は皆から感想や意見をいただく形を取りたい。

永見委員長
松井書記

副委員長から説明があったが、事務局から資料はいつもらえるのか。

昨日の段階で、他市の条例を一部タブレットに入れているので見てほしい。市職員が使う例規システムで、全国の条例の中から「人権」と「多様性」というキーワードで探してヒットしたものが六つあったので、タブレットに入れている。人権だけで検索すると数がすごく多いし、古いものも出てくるが、多様性を絡めると新しい条例が出てきた。これらをデータ化し、視察候補先に上がっていた渋谷の条例も暫定的に入れておく。もう少し事務局で探して、早い段階でタブレットに入れておくので、事前に見ておいてほしい。

三浦副委員長
松井書記
永見委員長
芦谷委員

視察候補に挙げていたところは情報提供してほしい。

ある程度入れた段階で、メールでお知らせする。

一般質問の後、あまり時間はないが、9日の委員会で皆に意見を伺う。

男女共同参画と旧分野の人権尊重の話以外に二つあると思う。市民総参加の入り口と外国人である。外国人は差別だけではなく、外国人と共生する日本浜田という感じ。市民総参加の入り口になるような多様性社会、もう一つは外国人が浜田に住みやすい、留学生や技能研修生をどうするかというところもぜひ論述したい。条例化もよし、提言もよしと思うが、それは委員会の中でしっかり議論しながら、私が今言った二つの視点についてもし取り上げていただければ、盛り込んでいただきたい。

永見委員長

芦谷委員から2点の意見が出た。浜田市人権尊重のまちづくり条例の検討委員会の中にそういう方が委員として参加されると聞いているので、そのあたりも十分クリアできるのではないか。

三浦副委員長

これから検討委員会がどのような条例をつくろうとしているのか、まだわからない状況なので、先ほど芦谷委員がおっしゃったような視点を条例に盛り込むべきだというようなことをこの委員会の場で共有できれば、それをもって検討委員会に、こういう視点をぜひ盛り込んでほしいと伝えられるよい機会になると思う。他市の条例などを見ながら、皆から意見を出していただければ、そういう申し入れにつながるのではないかと思う。

大谷委員

方向性の確認だが、まだ条例は見えていない状況の中で、市がつくる人権にかかわる条例に、この多様性を加味するような提言をするのか、それとも多様性についての宣言なり条例なり、別個の形を模索するのか。それもこれから決めるのか、確認したい。

永見委員長

別に立ち上げる形ではなく、中に加えていただく形だと思っている。

三浦副委員長

男女共同参画推進計画と人権の推進計画ができて、男女共同参画の計画は何に基づいて立てたかという、浜田市としての条例がある。人権の計画はつくったが、こちらには条例がないので作る必要があるということで、男女共同参画は条例改正はせずにそのまま計画をアップデートし、人権は計画をつくりながらも何をよりどころにするかがない中で、今回必要性を感じて条例をつくるという前提がある。佐々木委員からは男女、女性と、参画といったことに視点を当ててという話もある中で、条例がつけられるこのタイミングで全体を捉えながら議論してみようという方向で来ているが、淡々と人権の条例をつくり、多様性は別個に抜き出してつくったほうがよいという議論になれば、それでもよいと思う。ただ、幅広い意味での人権をどう捉えるかという、条例をつくるよいタイミングがあるので、それと併せて議論したほうが、後出しになるよりは、入れ込むべきかそうでないかという結論が出ればよいと思う。ただ、前提として、こちらで条例制定の動きがあるので、それに向けて我々も必要性を感じるものがあればしっかり入れ込んでもらうよう働きかけをしたほうがよいのではないかということである。

大谷委員

方向性を整理しておかないと論点がずれるので確認させてもらった。認識はこれで共有できると思う。

永見委員長

ほかに意見はあるか。

(「なし」という声あり)

では、事務局から資料を皆に送る。時間的に厳しいと思うが読み込んでもらい、次回の委員会で意見交換をしたいので、よろしく願います。以上で本日の総務文教委員会を終了する。

[12 時 50 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務文教委員長 永見 利久